
ふふ、体の自由が利くようになった途端に私を組み伏せるなんて…
そんなに私の体を好きにしたかったのかしら？
ドキ♥
ドキ♥
ギシ…


あぁ…♥さっきより
さらに大きくして…♥
これではもう
使い魔ではなく獣ね…♥
ビキ♥
ビキ♥
ビキ♥
ビキ♥
はぁ♥
はぁ♥


でも、貴方のそういう荒々しいところも好きよ♥
さぁ、本能のままに私を求めなさい…♥
ビキ♥
ビキ♥
ビキ♥
ビキ♥
はぁ♥
はぁ♥


ちょ
ズブッ


んっ、いきなり容赦なく奥まで入れるなんて…♥
さっきの仕返しのつもりかしら…？♥
はぁ、
はぁ、
グププ…♥


あぁ♥いいわ♥
その調子よ♥
そうやって欲望を
全てぶつけるように
腰を打ち付けなさいっ♥
あ♥
ん♥
パン
パン
パン


あぁっ♥
もうだめっ…♥
きてっ指揮官っ♥♥
私の中を全て、貴方で
埋め尽くしてっ♥♥
あ♥
ん♥
パン
パン
パン


ビクッ
ギュ～～
ズブ～


限界まで密着して
種付けのような中出し…♥
本気で私を
妊娠させようと
しているのね…♥♥
ビクン
はぁっ…
ん…
ビク
ゴプッ
ドプッ


わたしの中、完全に
あなたに支配
されてしまったわ…♥♥
ええ…約束通り、
今夜は貴方が
私のご主人様よ…♥♥
はー
はー


さぁ、ご主人様…♥
貴方が満足するまで、
私の体をお使いください…♥♥
貴方の求めなら
どんなことでも
私は従います…♥♥
ビキ
ドキ





















